

George MacDonald

M

The Magic Mirror



コスモの
勝ちだ！

あきらめろ
スタインワルド



まだ続けるかい？

スタインワルド

僕はいいけど、
君の負けが
かさむよ。

残念だつたな！
コスモは
このクラブで一番
強いんだよ！

しくじつたな
スタインワルド

チクショウ
負けかよ！
いくらだ？

ばさー



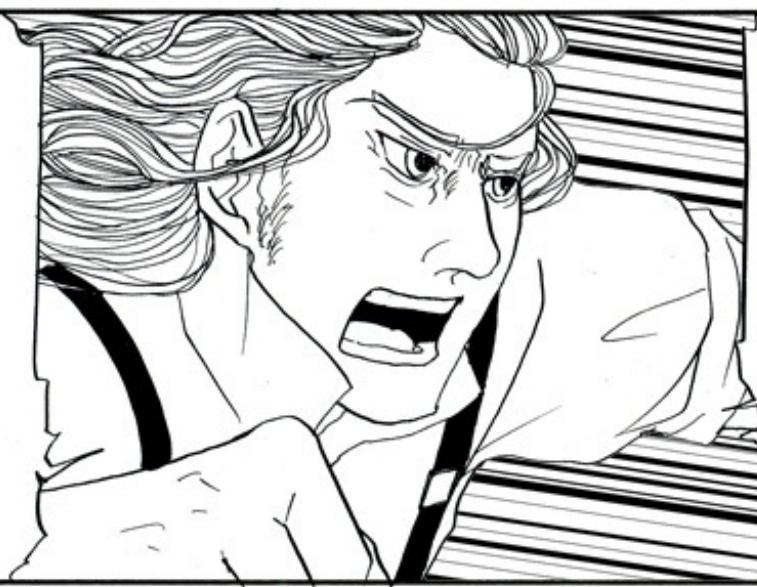
がっ

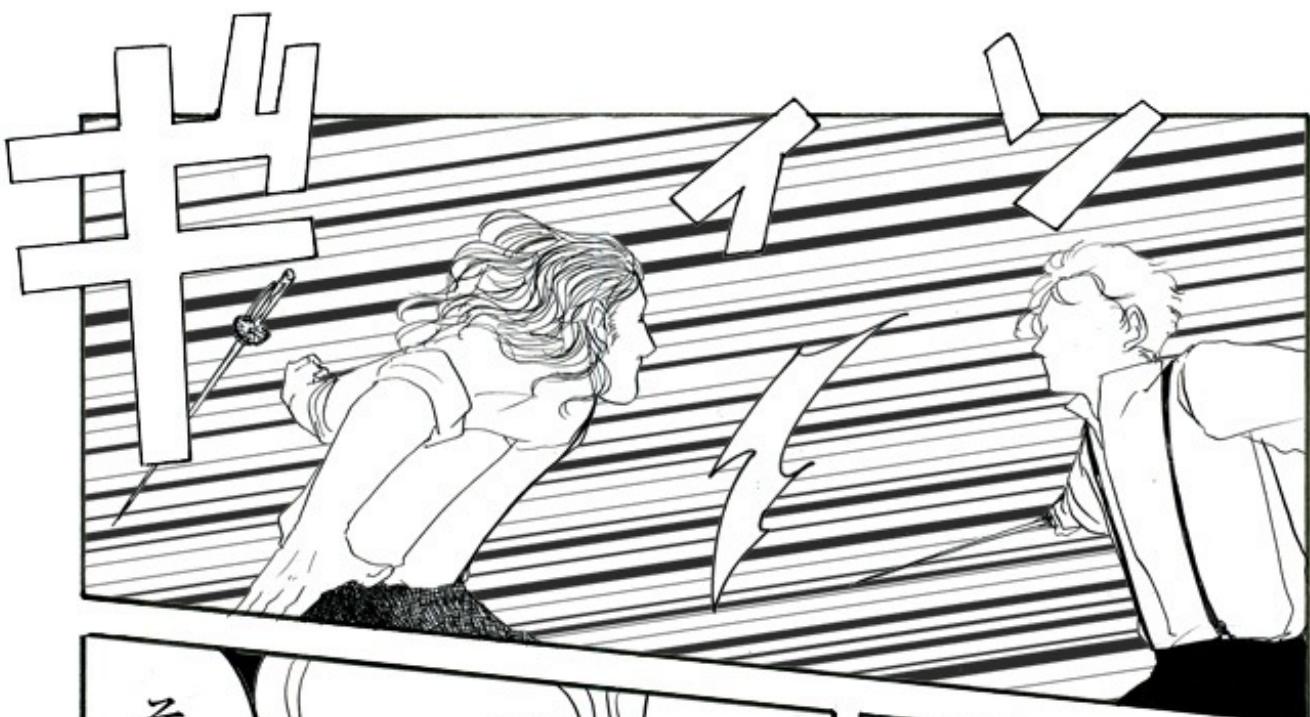
ふざけ
るなッけ



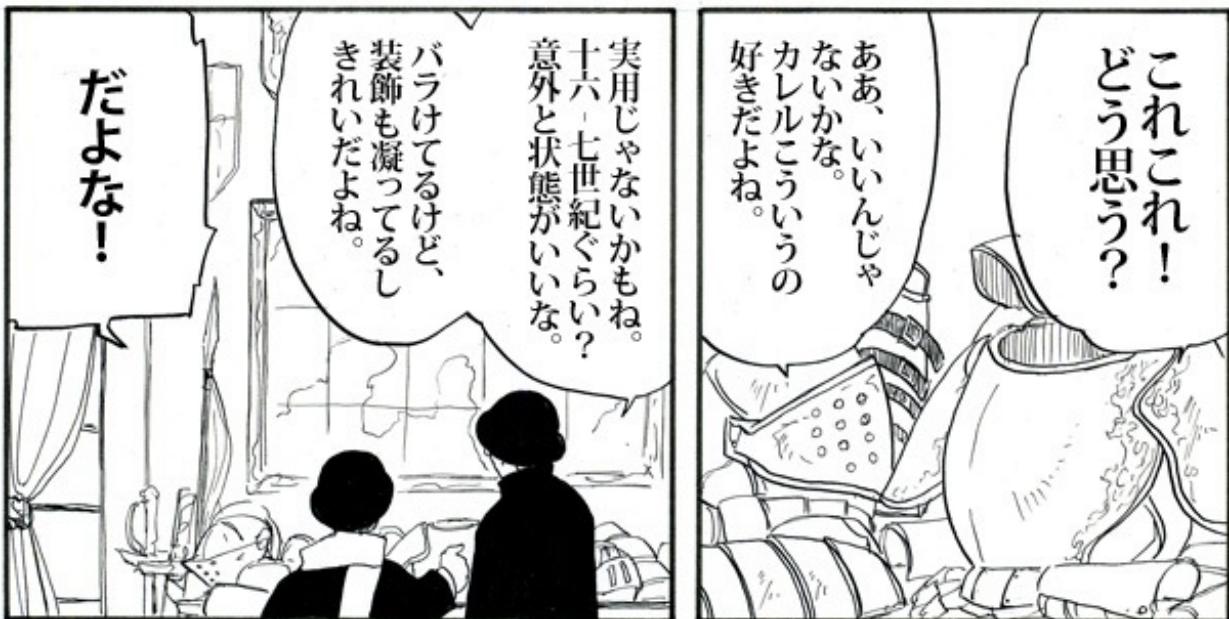
お前のような
没落した野郎に
オレが負けるわけが…

コスモ・フォン・
ウェルスター！













失礼ですが、
お名前を聞いても？

なるほど、
お父様によく似て
いらっしゃる！

ああ！
ウェルスター家の
ご子息でいらっしゃい
ましたか！

コスモ・フォン・
ウェルスター

この店にはあなたの
お父様の紋が入った
商品がたくさん
ございますのでね。

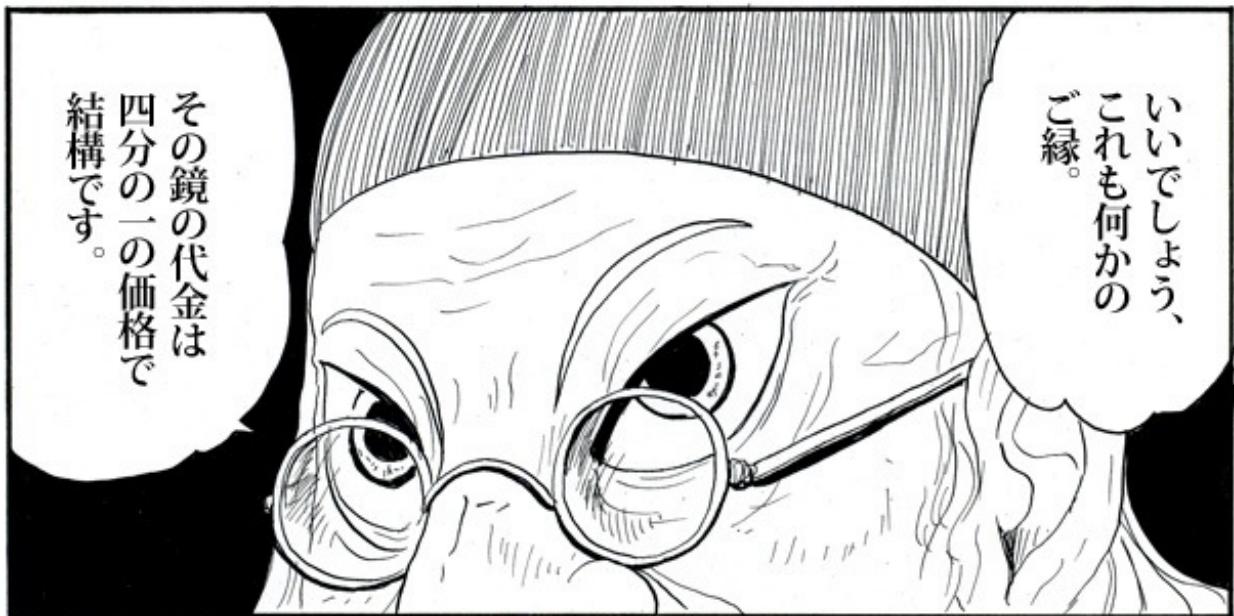
お父様からは
色々買い取らせて
いただきましたよ。
ええ、ええ。

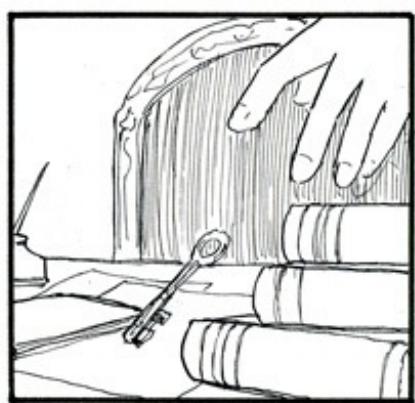
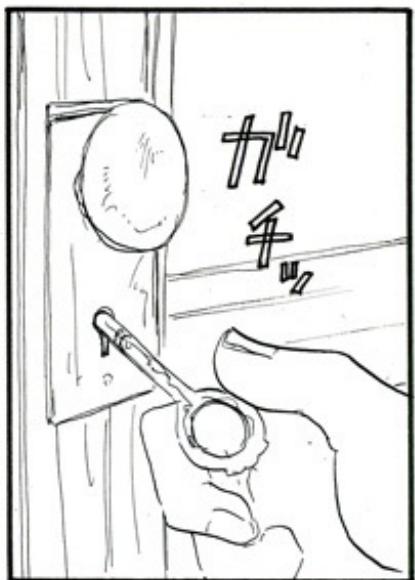
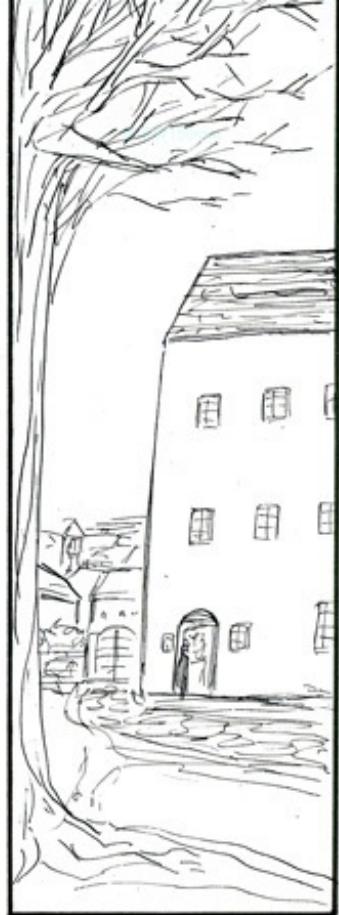
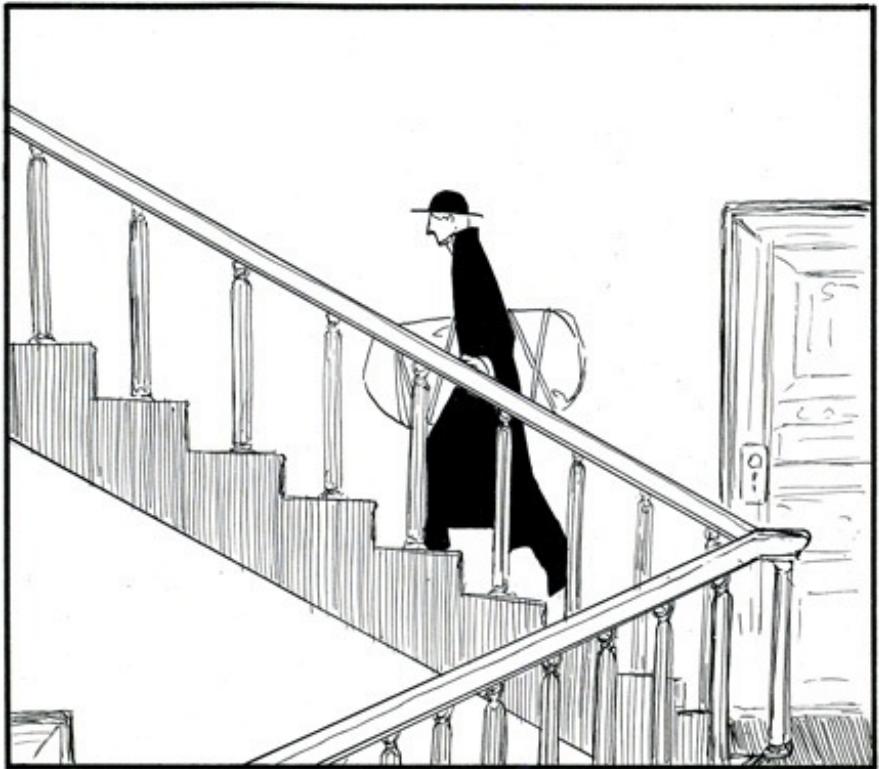
懐かしいでしょ。
何かご覧になり
ますか？

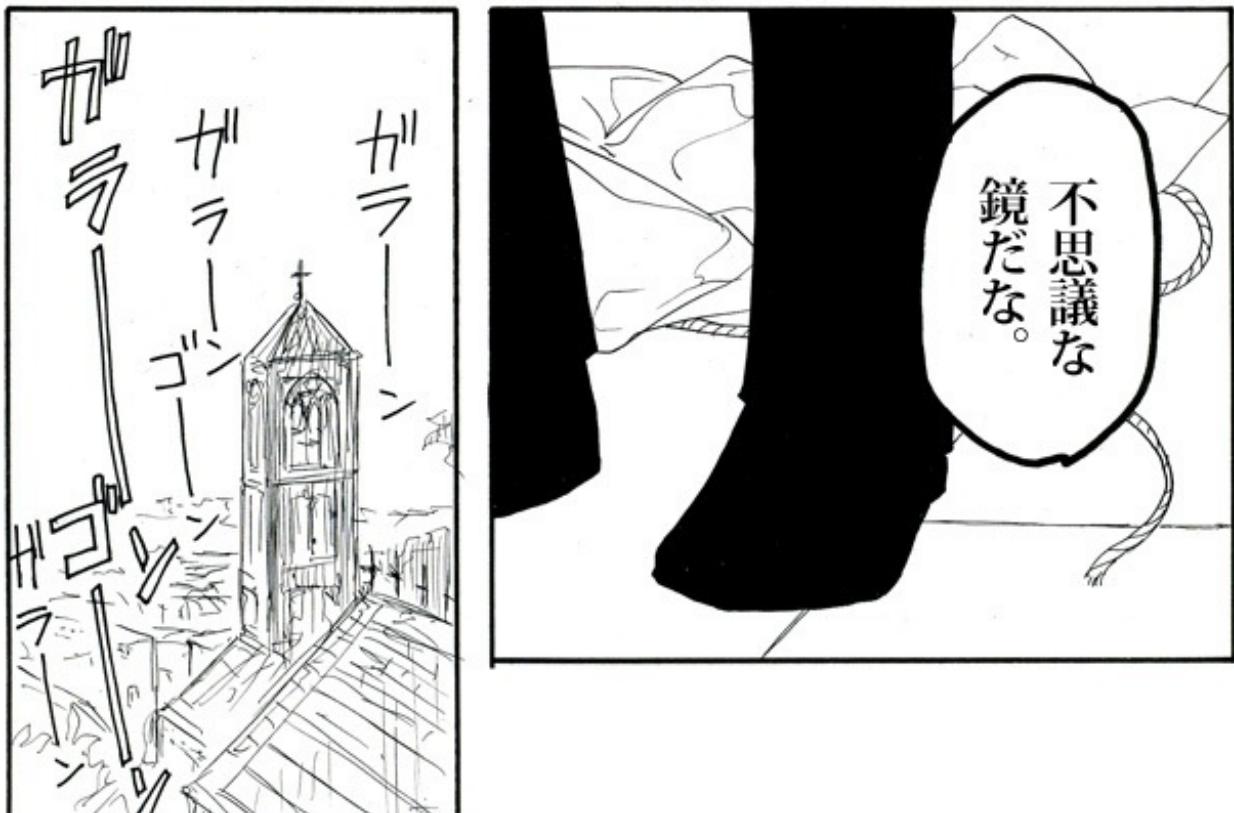
結構だ。

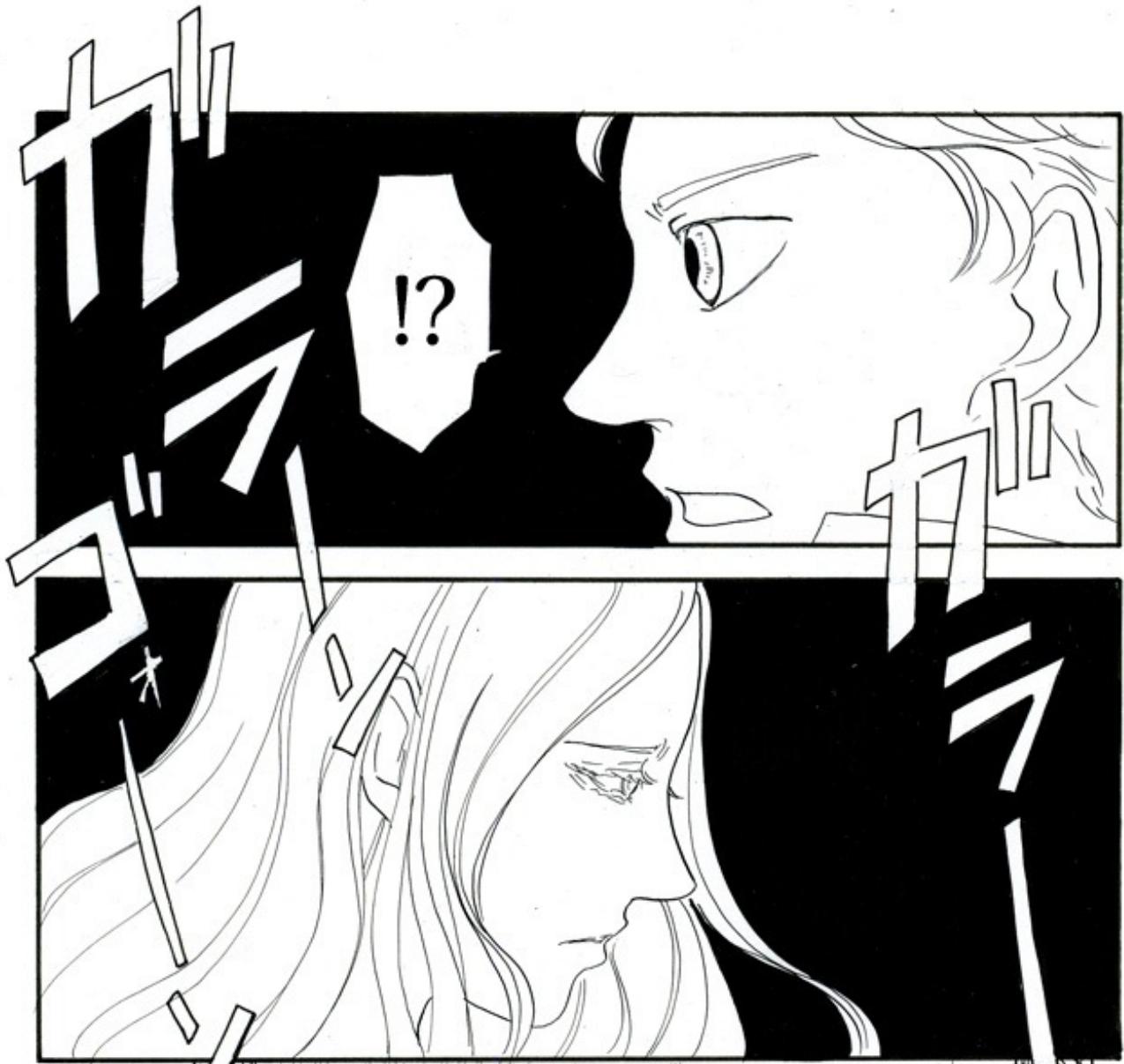
買い戻されるのを、
私としてもお待ち
申し上げております。

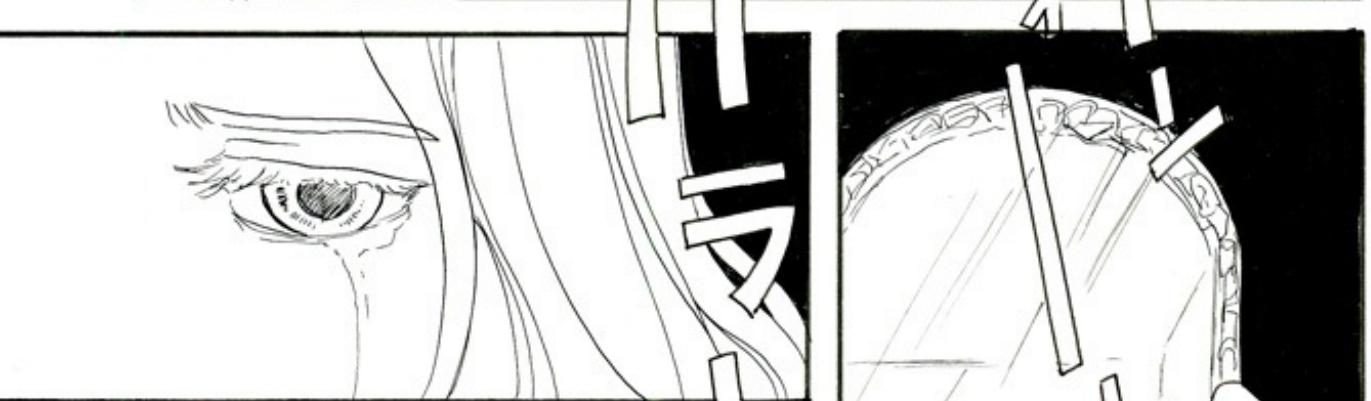














よう、コスモ！
久しぶりだな！

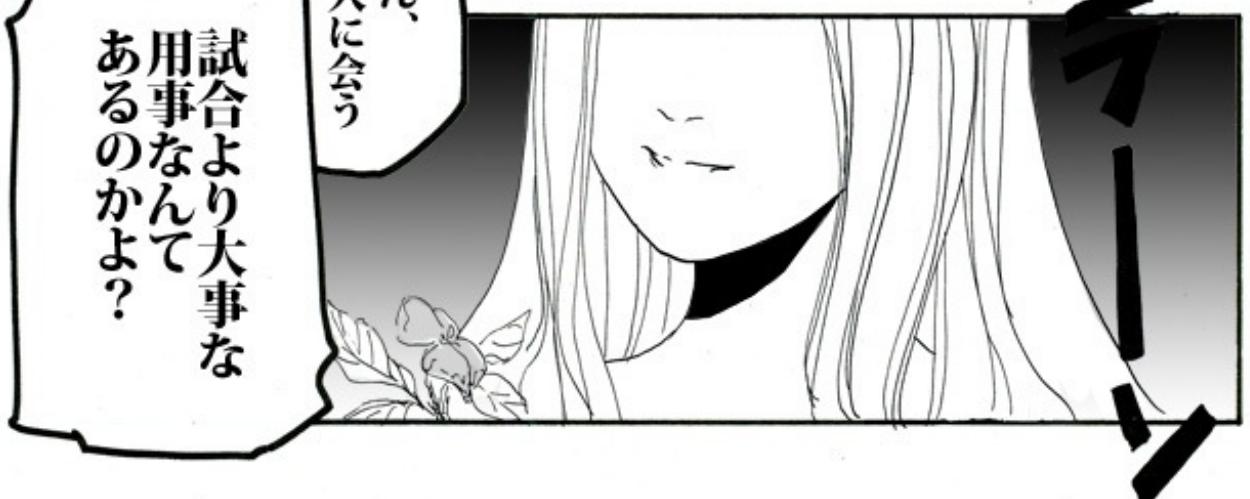
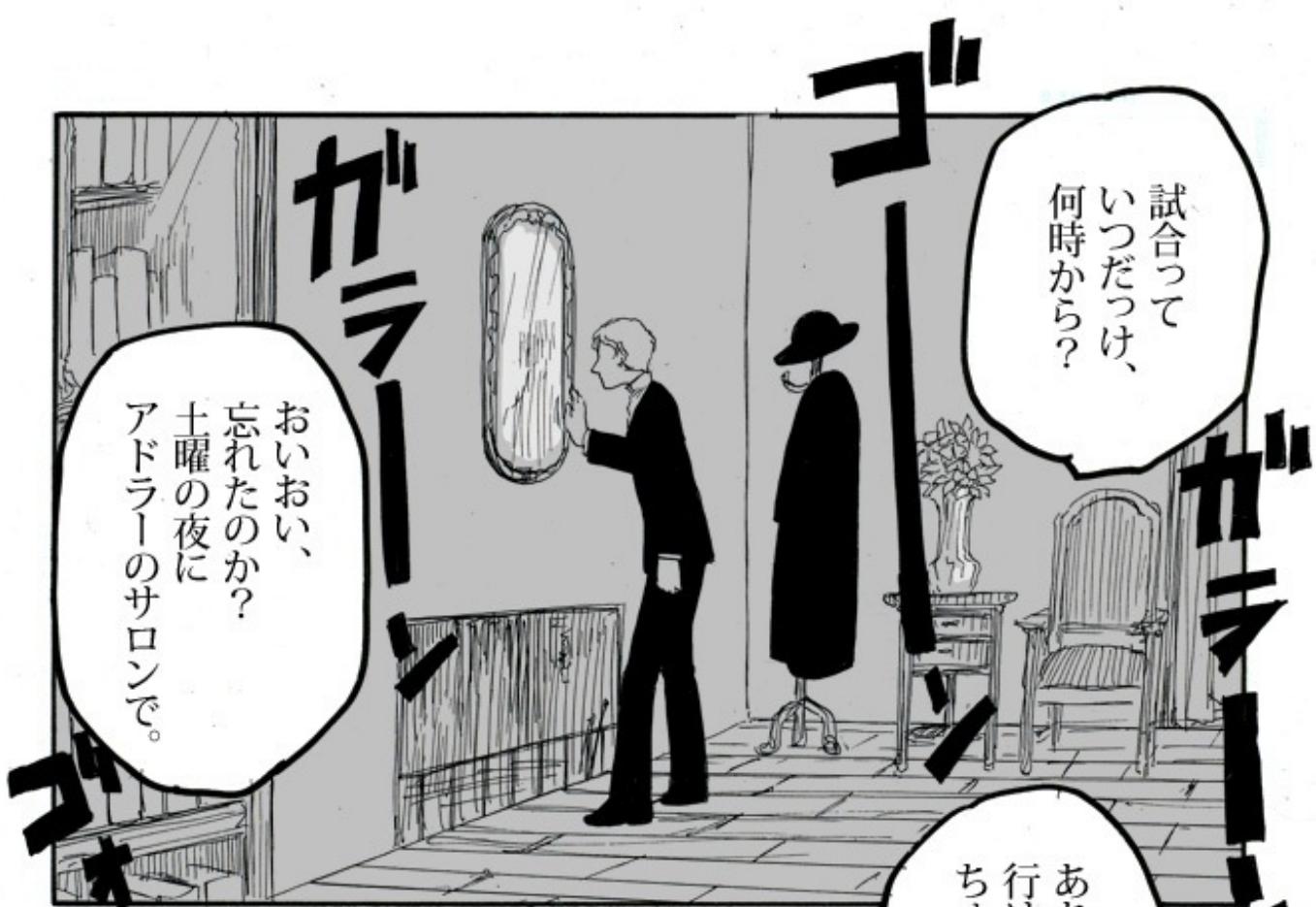
最近付き合い
悪いじやん。
何かしてんのか？

え？
いや、別に…
いつもどおりだよ。

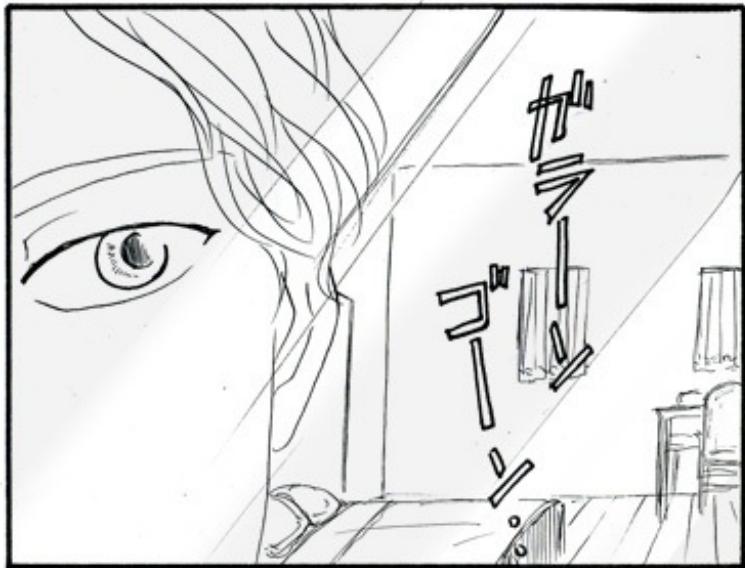
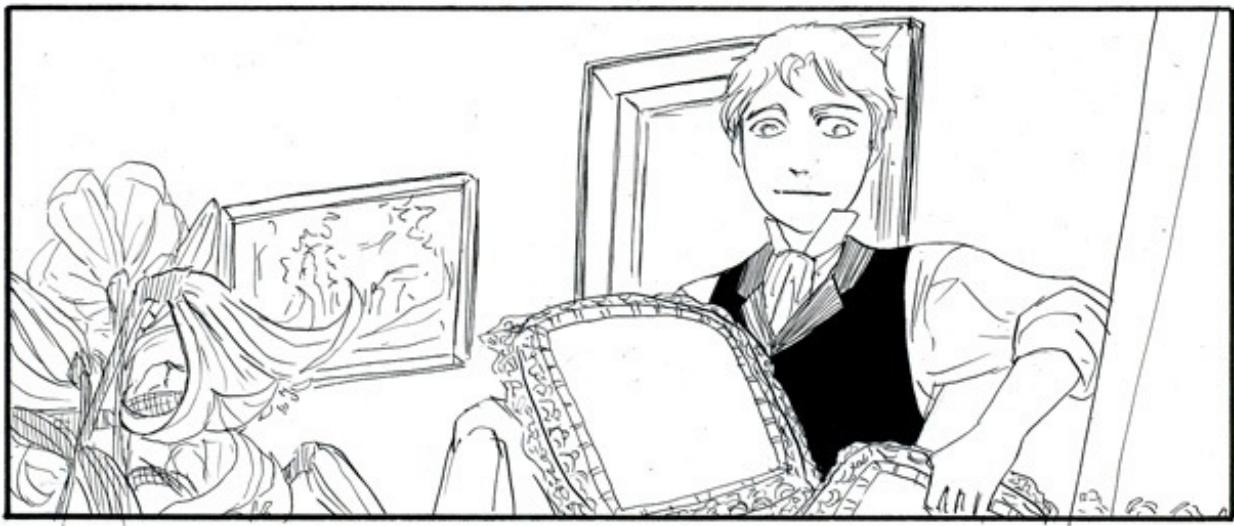
そうか？
そうだ、今度の試合、
お前も出るよな？

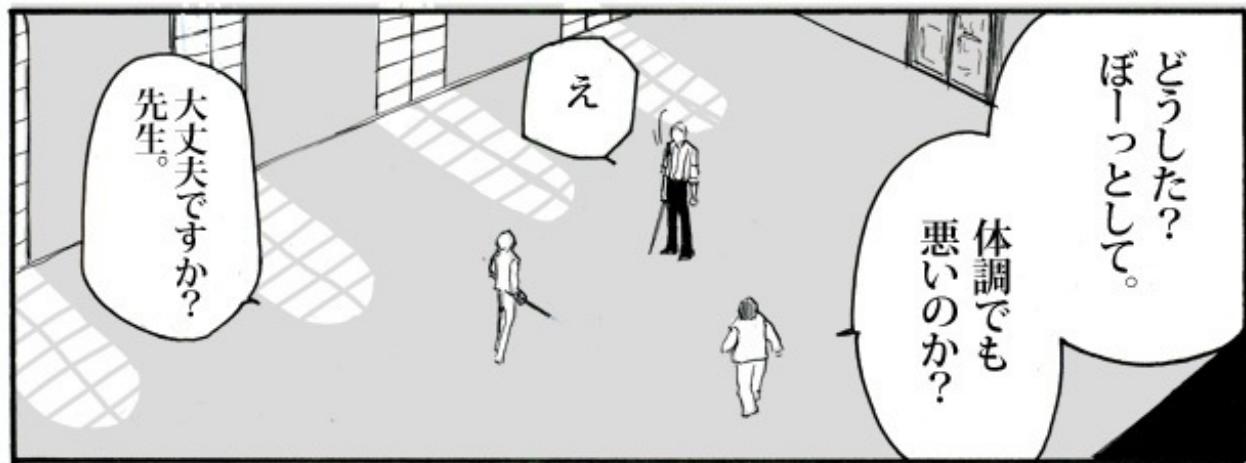
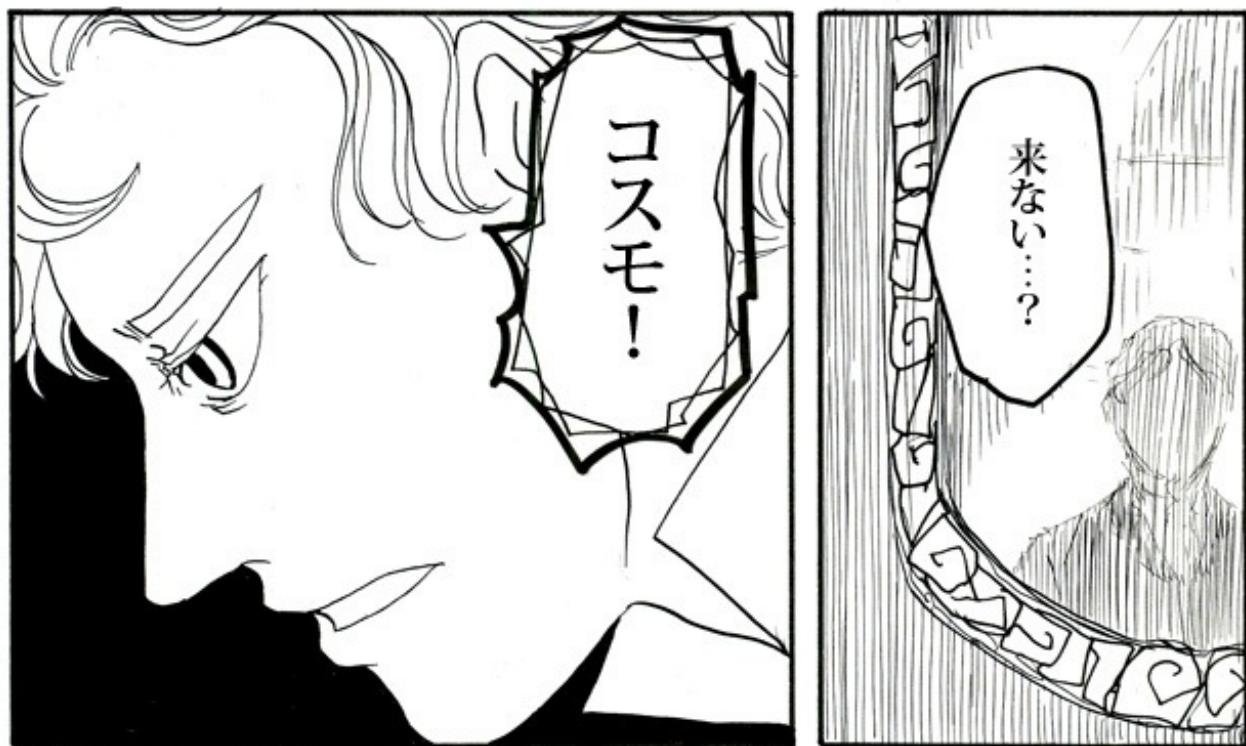
ああ、うん
もちろん。



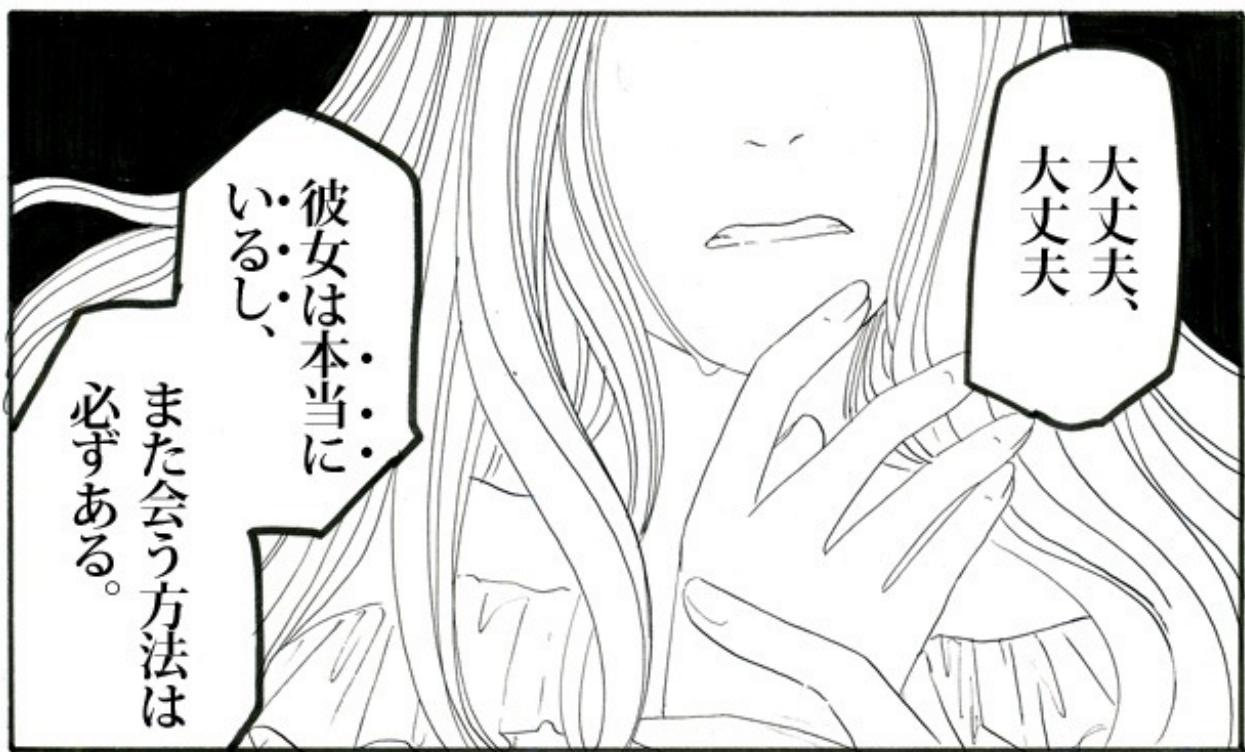










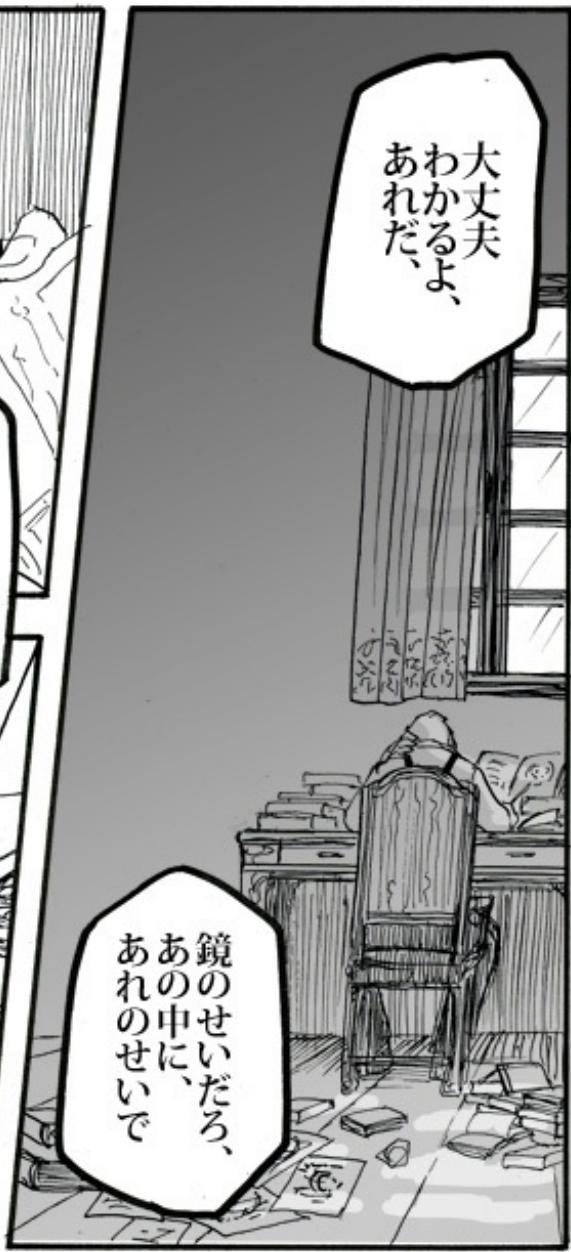


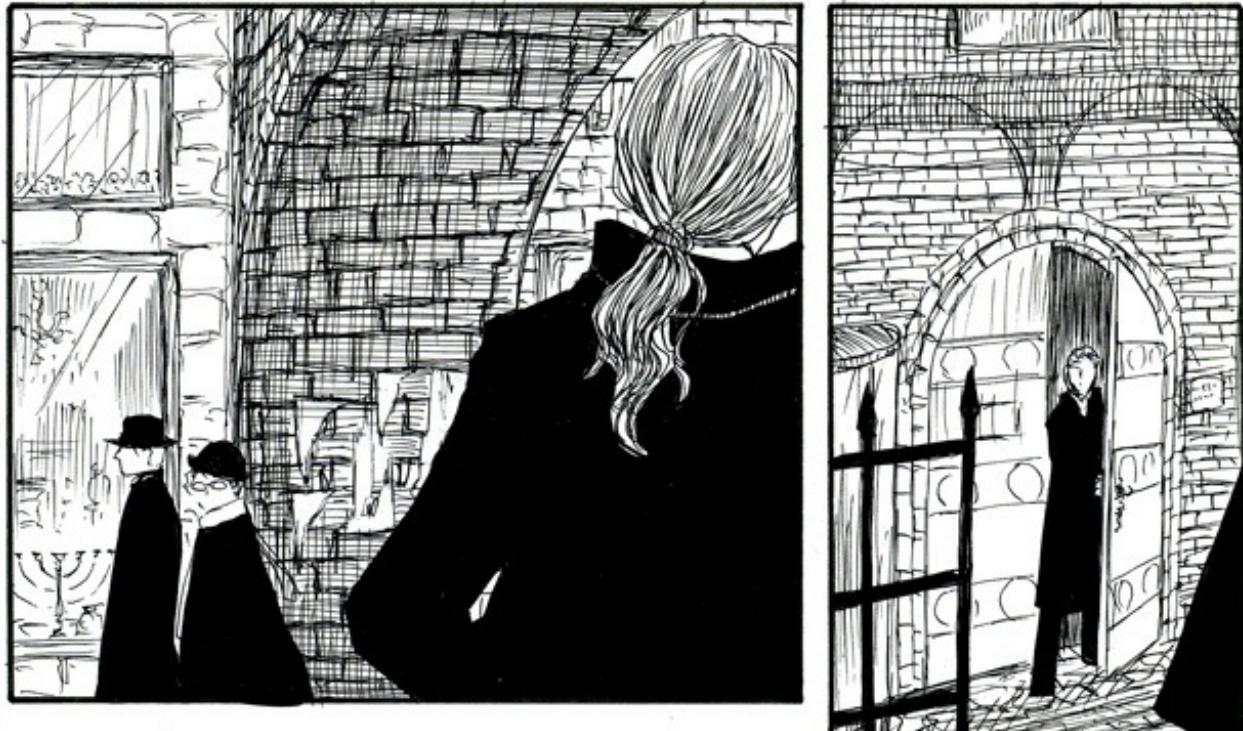


大丈夫
わかるよ、
あれだ、



鏡のせいだろ、
あの中に、あれのせいで





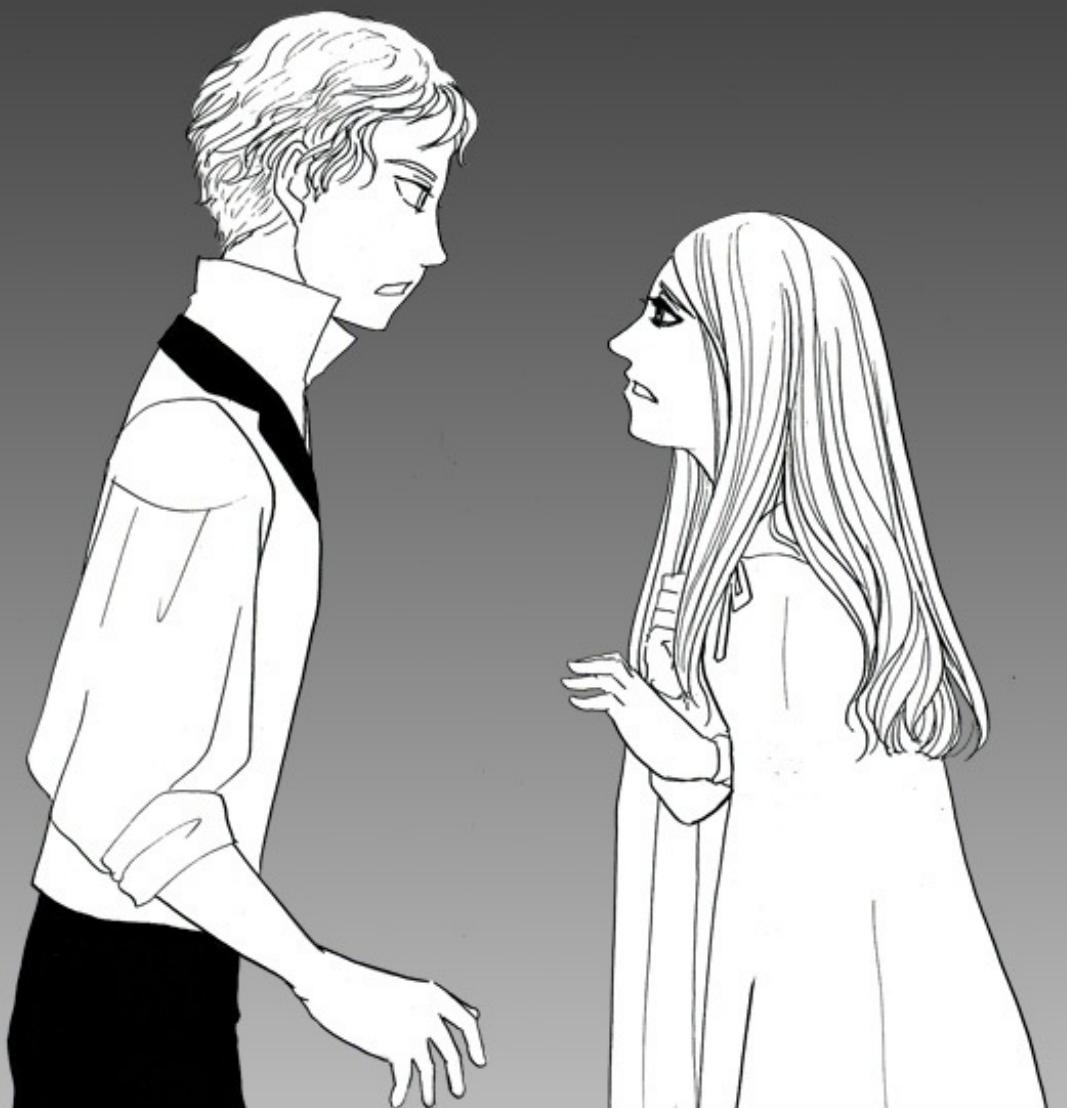


אַרְוּבָּה אֲרַבָּה

אַדְמָקָה אֲרַבָּה

אַרְבָּה...

どうして私を
呼んだの……？



あなたに
触れたくて。

あ、あなたに

私は、すでに
あなたの手のうちに
あるモノです。

私は…

こんな方法でしか
あなたに会う方法が…

あの鏡…

あの鏡に
囚われている
うちは……。

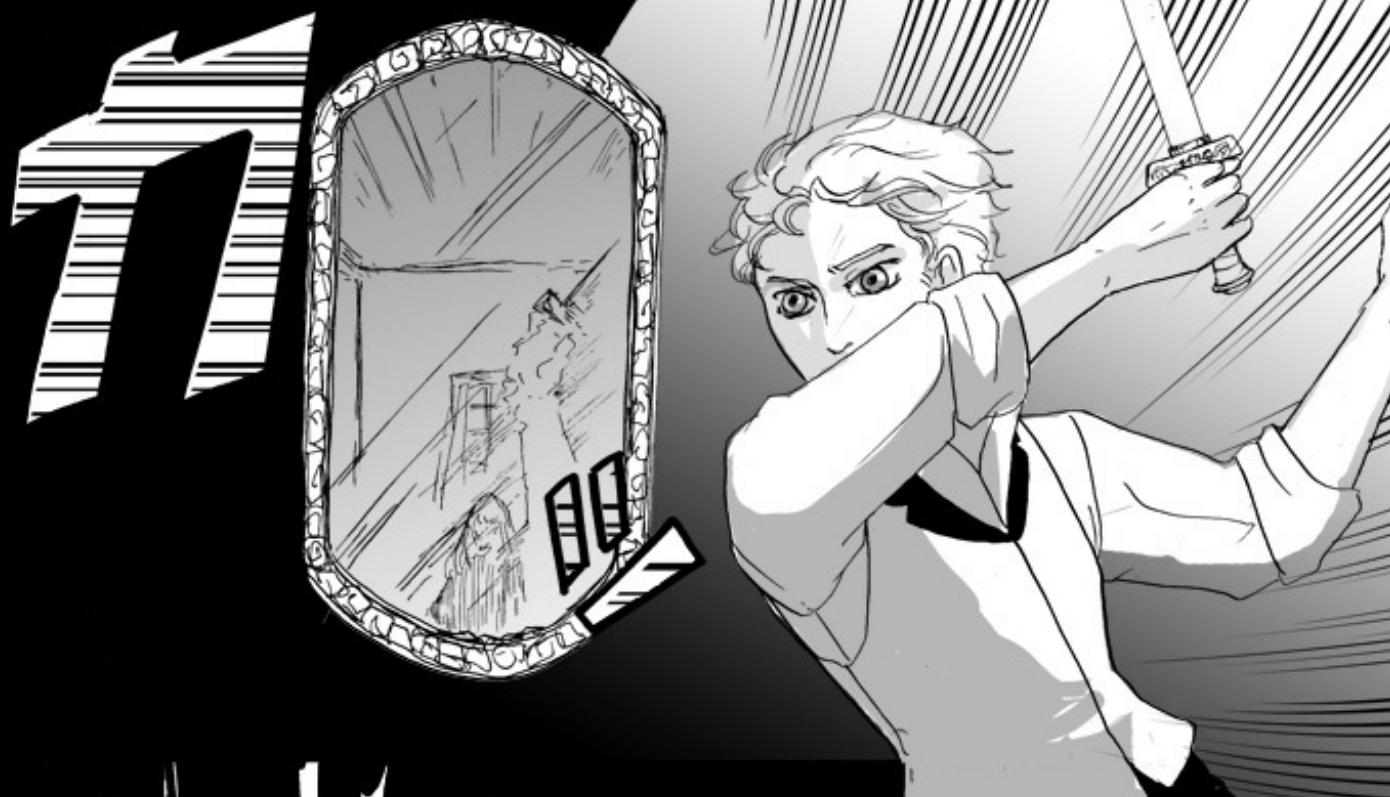
もし、あなたが本当に
私を想つて下さるなら
どうか、

もし…



鏡を壊して。

私を自由に
してください。



鏡？

それはそれは
災難なことです。
ほかに被害は？

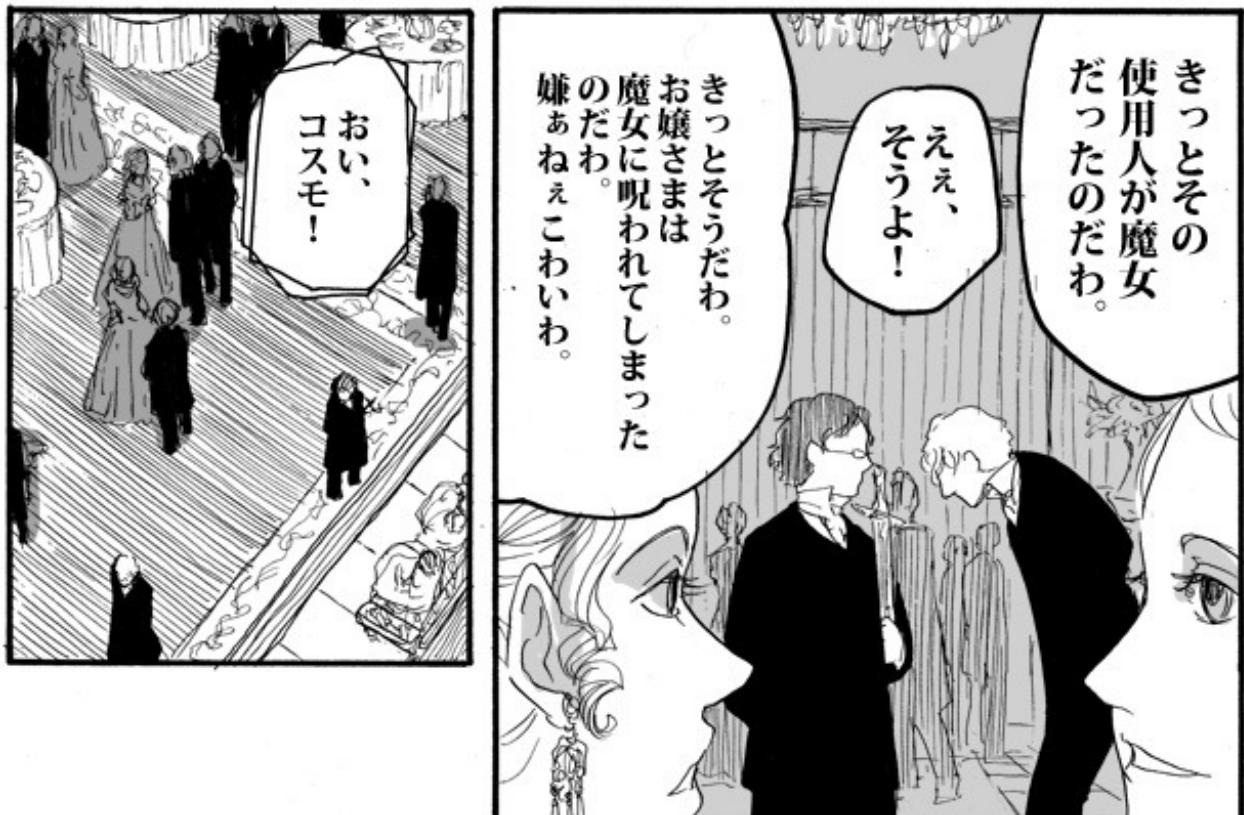
おやまあ
盗まれたと？

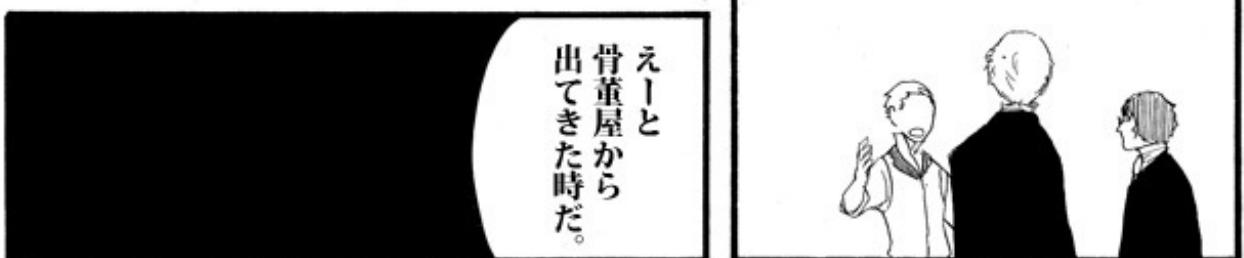
結構ですとも。
もちろん。
盗まれたのなら
仕方ありません。

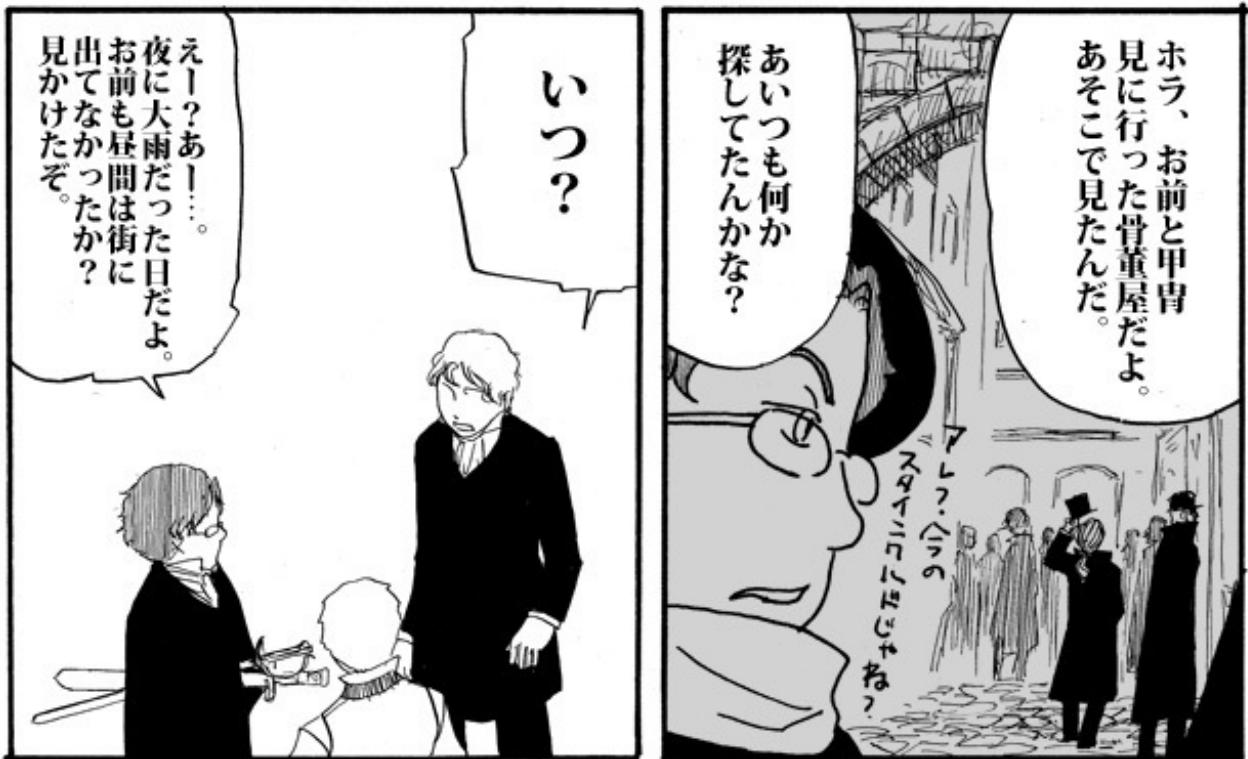
え？
返品の
代金ですって？

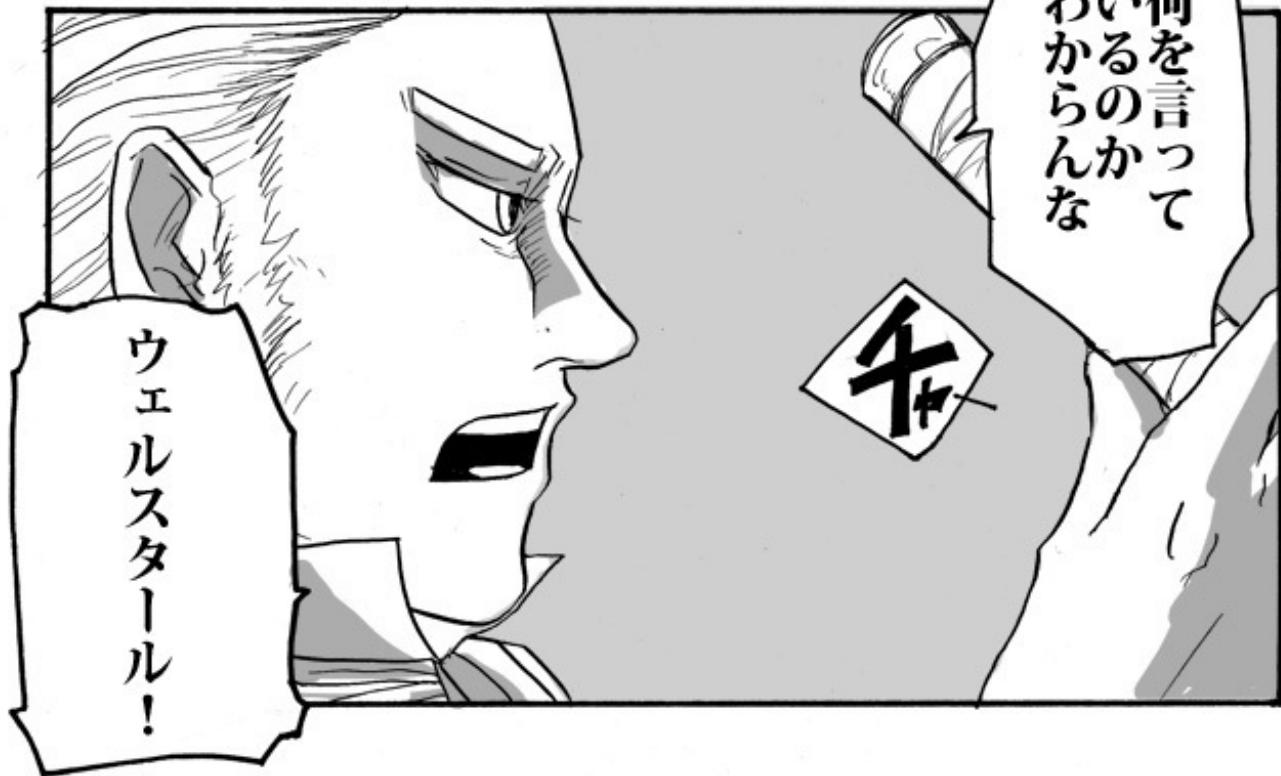
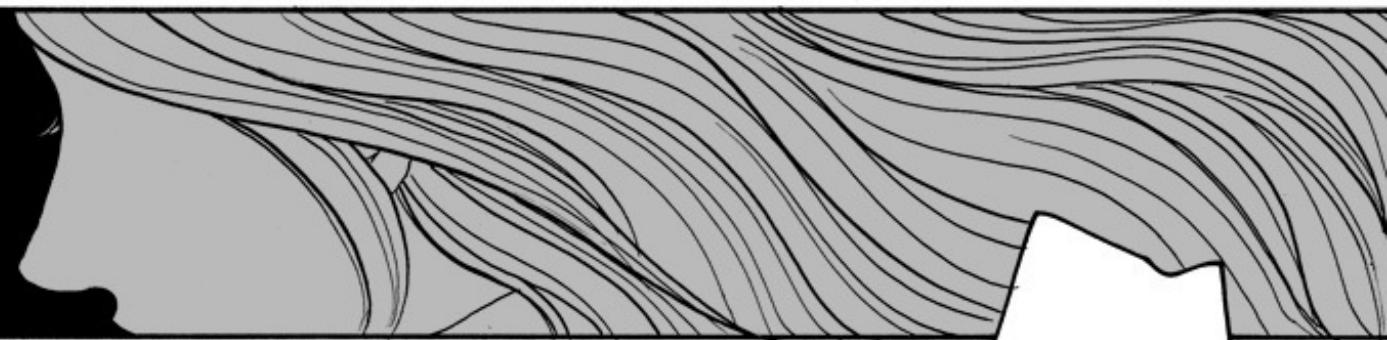
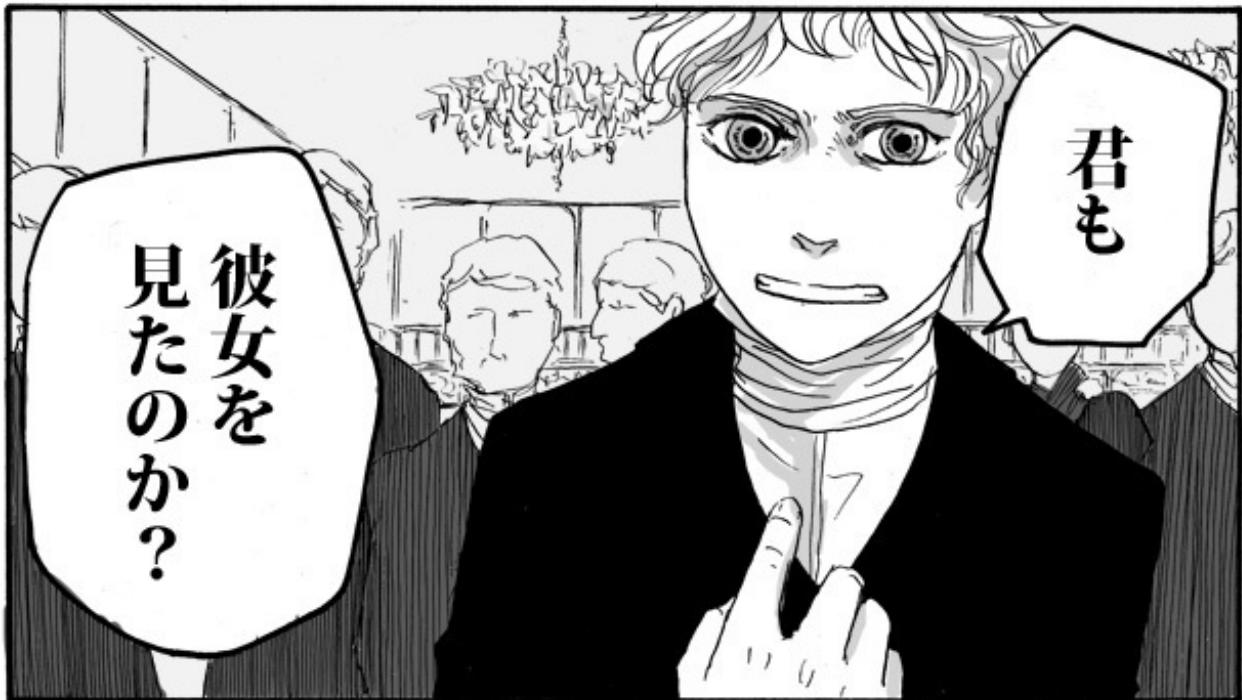


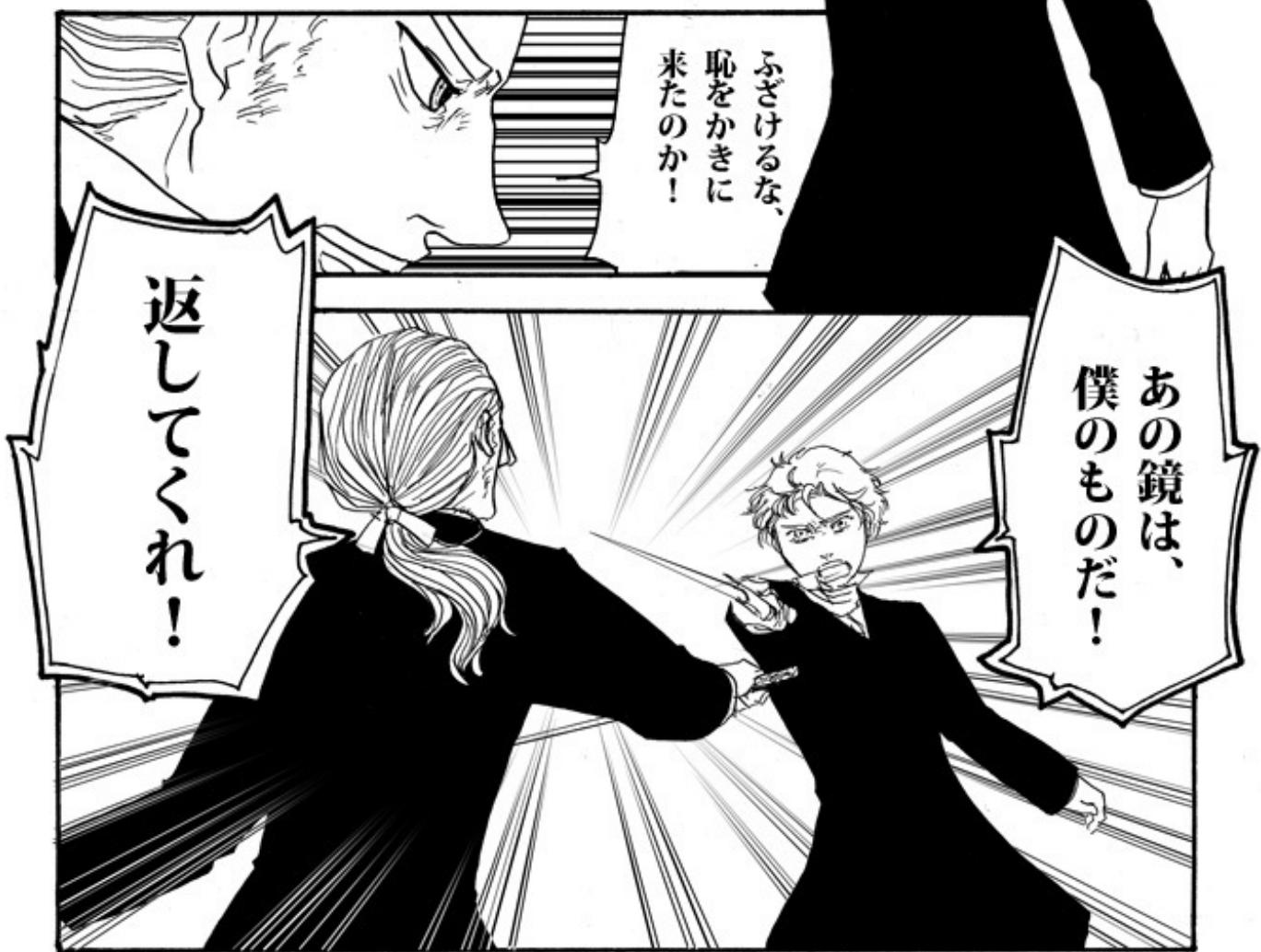




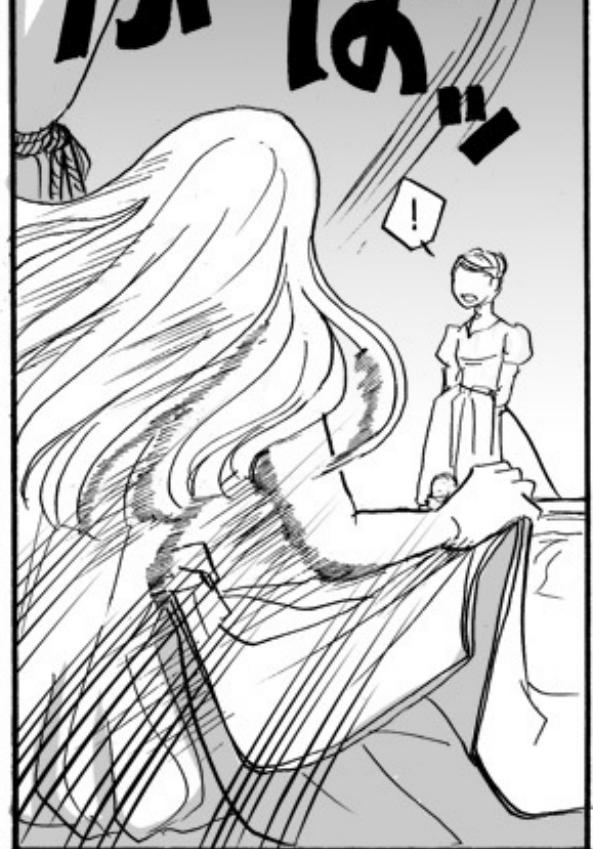
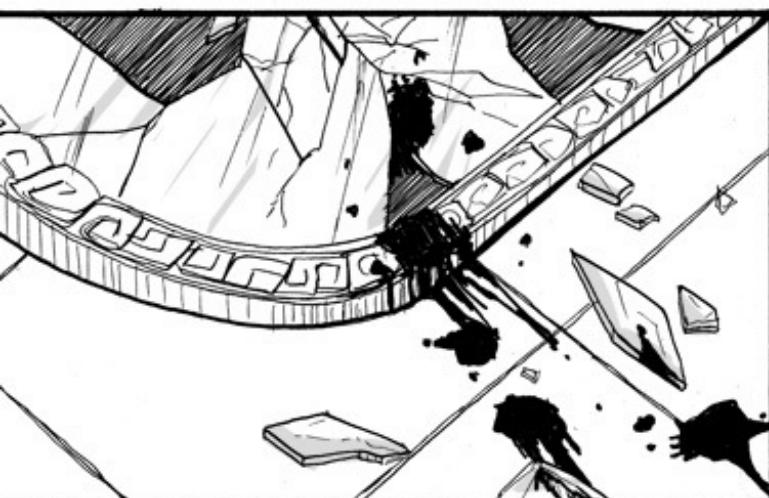
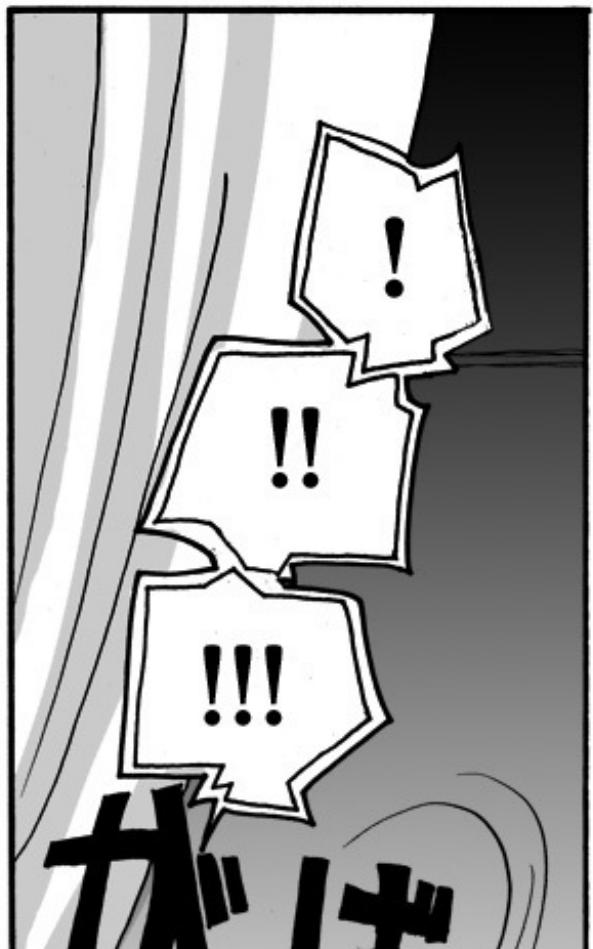












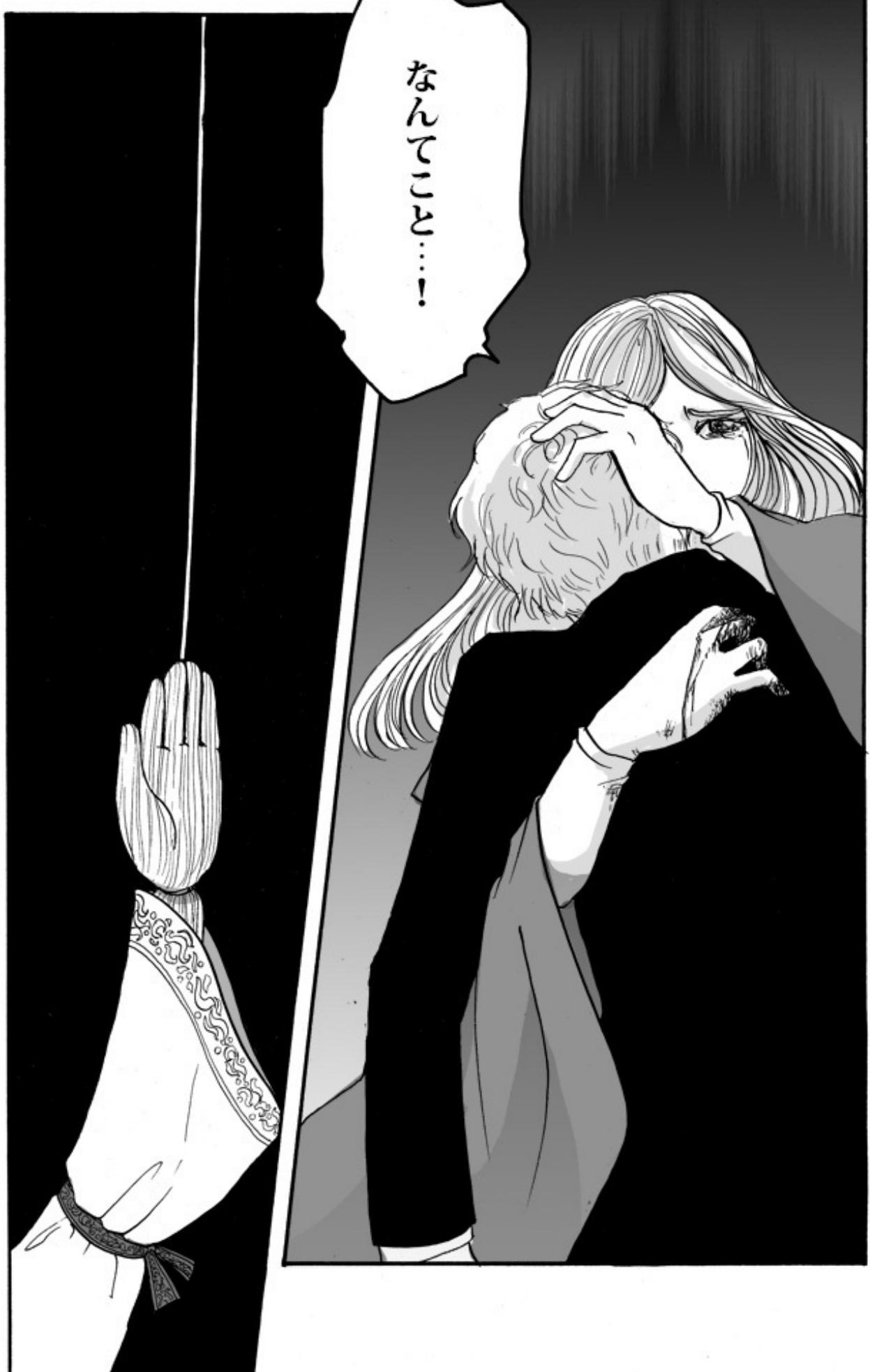
今、あなたの
ところへ
行こうと……！

ええ、ええ、
あなたのおかげで、
もちろん！

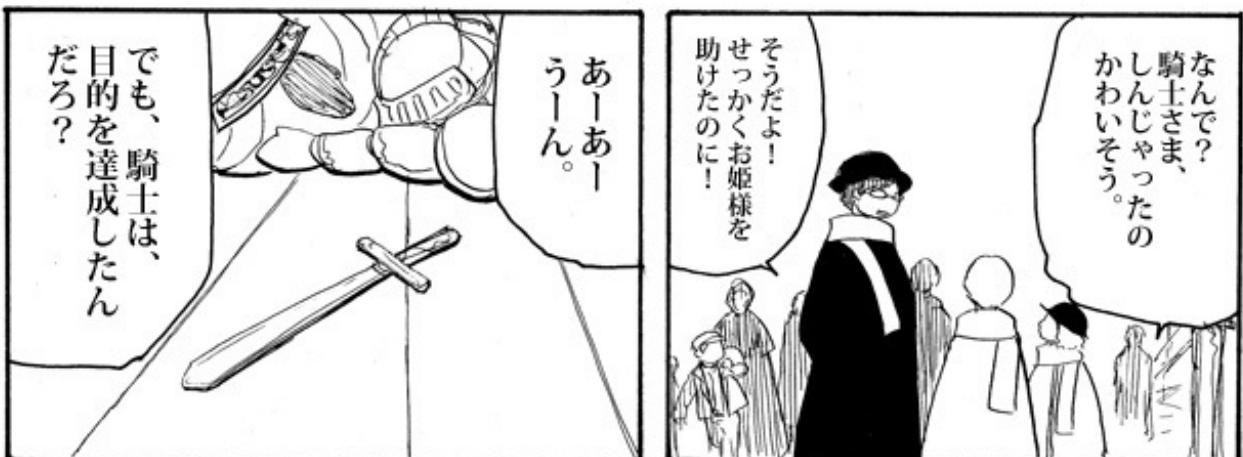
僕は……報われたので
しょうか……？
少しでも……あなたを……



なんてこと…！







END

この漫画は、青空文庫で配信されている、
ジョージ・マクドナルド「鏡中の美女」を翻案・漫画化した作品です。

<http://www.aozora.gr.jp/cards/001117/card43468.html>

漫画化するにあたり、セリフ・場面等の大幅な改変等がなされています。
一番大きな違いは、主人公コスモの友人カレルは原作中には存在しません。
カレルは原作の中で描かれるコスモの名無しの「友人」たちをキャラクター化したものです。
スタインワルドも、原作では後半になって初めて名前の出てくる人物なのですが（しかも名前だけ）
、漫画ではコスモの敵役としてそこそこ活躍（？）してもらいました。剣術の試合や賭け、クラブの
活動的な部分、スタインワルドの行動などは私の完全な創作です。このように読むこともできるので
はないか、とねじ込ませてもらいました。

何故カレルやスタインワルドをキャラクターとしてしっかりたてたか、というと、原作を読んでいて
、コスモに全く感情移入できなかったからです。この主人公の行動規範にどうしてもコミットでき
なかったのです。

この物語を漫画として描くに当たり、主人公の想いを自分のものとして描くことは私には難しく、第
三の視点がほしかったのです。それが友人たち・ライバルとして存在するカレルやスタインワルド
です。

漫画のため、小説とは言葉のリズムの取り方が大きく違います。漫画式の展開の仕方に沿うように、
小説らしい長い独白等はかなり削除しています。詩的な文章は絵の無い形式だから楽しめる表現形だ
と考えておりますので、漫画では愛の告白や思いの丈を述べるシーンなどはそうとうバッサリ切って
いますすみません。

コスモがオカルト好きでロマンチストな実践派武器オタク、というのが、もうちょっと大きく描けれ
ばよかったのですが、私の技量が足りませんでした。

私では読解力や知識が足りず、原作小説から拾い切れなかつたものも多々あるかと思います。何か大
きく勘違いをしておりましたら、容赦なくツッコミを入れていただきたいです。

中でも一番気になっていたのは、ホーヘンワイスのお嬢さまはホーエンハイムのことなのか？とい
う点。パラケルススの末裔だとすると、鏡に囚われのお嬢さまもそこそこ不思議な力を使ってくれて
もいいよなあと思うのですが……。

余談が長くなるのも無粋ですのでこんなところで。
ここまで読んでいただきありがとうございました。

M The Magic Mirror

<http://p.booklog.jp/book/24780>

著者 : sdt

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/scarlet-d-t/profile>

眼鏡の瓶底 : <http://fweb.midi.co.jp/~scarlet/>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/24780>

ブクログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/24780>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.